



TEAM NEXT YONEZAWA

変化していく時代に合わせ 新しい働き方に挑戦

平成 13 年に板金加工業として創業した(株)栄進钣金製作所。配電盤や制御盤の筐体など、大型の金属钣金で強みを発揮し、主に関東圏の企業を中心に取引を行っています。代表取締役社長の間山幸光さんは、「設計のためのデータの作成から、切断・曲げ・溶接組立・塗装・検査まで自社で一貫して行うことで、お客様の要望にスピーディーに対応できることが強みです」と語ります。

もとは仙台の IT 企業のシステムエンジニアとして、企業のネットワークやサーバーを管理する業務に携わっていた間山さんは、結婚を機に妻の実家の家業の後継者候補として栄進钣金製作所に入社。「オリジナリティのある取り組みで同業他社を驚かせたい」という想いから、前職の経験を活かして工場設備の ICT 化を積極的に進め、生産効率を大きく向上させました。また、間山さんは従業員の心拍数や体温などのデータを把握し、労働災害の防止につなげるシステムの導入を検討するなど、日々めざましい進歩を続ける情報技術の未来に強い関心を寄せています。

「情報技術の進歩によって、今後はテレワークが働き方の主流になっていくと言われています。住む場所を選ばない働き方ができる社会になれば、米沢の若者の人口流出にも歯止めが掛けられるかもしれません。まずは私たちが率先して新しいシステムなどを取り入れることで、地域が新しい働き方を受け入れる土壌を作っていきたいと考えています」。情報化社会の未来を見据え、より魅力的な米沢を実現するための間山さんの挑戦は、これからも続いていきます。

板金から塗装まで一貫体制で製作している

株式会社 栄進钣金製作所 (大字川井)

間山幸光さん (写真) は平成 31 年 4 月から代表取締役社長に就任。19 人の従業員とともに、時代に合わせた新しい働き方や営業方法などを模索しながら日々業務に励んでいる。



「米沢品質向上運動」とは

本市では、挑戦と創造のあかし「米沢品質」をスローガンに掲げ、製品だけではなくサービス・観光・文化・行政など、様々な領域の「挑戦と創造」を喚起し、付加価値を高めていくことを目的に「米沢品質向上運動」を展開しています。本市のブランディングに賛同し、この運動に参加するプレイヤーが「TEAM NEXT YONEZAWA (TNY)」です。(5月14日現在、166の企業・団体・個人が登録)

